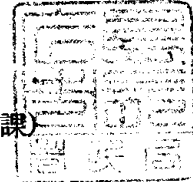


広 文 振 第 83 号
平成 21 年（2009 年）3 月 27 日

広島市監査委員 様

広島市長 秋 葉 忠 利
(市民局文化スポーツ部文化振興課)



平成 13 年度（2001 年度）及び平成 16 年度（2004 年度）包括外部監査
結果報告に添えて提出された意見への対応結果について（報告）

このことについて、別紙のとおり報告します。



監査の対象 補助金に係る事務の執行状況

対象団体 財団法人広島市文化財団（広島国際アニメーションフェスティバル組織委員会）

対象事業 広島国際アニメーションフェスティバル開催準備補助

意見

広島国際アニメーションフェスティバル開催準備補助について（補助金の意義等）

補助金以外の収入が逡減している中で将来的に継続して補助金の交付を受けるためには、今まで以上に積極的にフェスティバルの価値、意義等をアピールする必要がある。これにより各種助成金や広告料収入が増加すれば、結果的に補助金の交付額が減少することにもなる。

対応結果

○フェスティバルの価値、意義等のアピールについて

監査意見や課題を踏まえながら、第11回、第12回大会の取組みの中で、フェスティバルの価値、意義等を積極的にアピールした。

具体的には、

- ① ディズニーの「シンデレラ」、「ファインディング・ニモ」や「手塚治虫回顧上映」等、市民が楽しめる大会プログラムの提供
- ② ひろしま美術館での「夏の上映会」（8月5日、6日）、国際アニメーションデーの公民館、映像文化ライブラリーでの大会入賞作品の上映（10月下旬から11月上旬）等、大会期間外にも作品に触れ合う機会の提供
- ③ パラパラアニメーションコンテストやキッズ・クリップ、マッキントッシュ・アニメーションメイキングワールド等、子どもから大人まで対象としたアニメ制作ワークショップ開催の拡大

等を中心に取り組んだところである。

その結果、応募作品が第10回大会は59か国・地域から1,539作品であったものが、第11回大会は58か国・地域から過去最多の1,764作品、第12回大会は56か国・地域から過去2番目の1,656作品の応募があるとともに、東広島市、呉市など周辺市や海外などからの団体来場者もあり、本市の文化的な拠点性の向上を目指した広範囲の地域を対象とする大会へとさらに発展していく可能性をうかがわせた。

また、第11回大会から、アニメーション界における人材発掘、情報交換・交流等を目的に大学や専門学校を対象に、学生の作品や活動を展示・紹介する場を提供しているが、出展校に海外フェスティバルへの誘いや、学生作品の買い付けの打診等があった。

また、アニメーション文化の振興だけでなく、第12回大会では、会期を早め、平和記念日の翌日の8月7日から開催することで、大会テーマである「愛と平和」の一層の具現化を図った。各国に送った開催案内には、8月6日の行事（式典、灯ろう流し等）を紹介し、国際平和都市「ヒロシマ」をアピールした。

○補助金の交付額の減少について

実行委員会事務局においては、経費節減、各種助成金の確保、広告料増収等一層の自助努力を行うとともに、入場券販売においても、広島アニメーションビエンナーレとの連携による入場券相互割引、障害者や高齢者への割引等を新たに実施したほか、コンビニエンス・ストアでの取扱いも拡大し、入場者増加に努めている。

平成22年度（2010年度）の第13回大会に向け、本大会の国際的知名度を生かしながら、市民が楽しめる大会、都市の活性化につながり広島が元気になる大会、「愛と平和」を希求し世界平和の実現に寄与する大会を目指し、大会プログラムの見直しを検討することとしている。また、今後とも、アニメーションフェスティバルの価値や意義を訴え、市民にとって有意義な大会にしていくことで、広告収入、入場料収入の増加を目指し、補助金の交付額の減少につながるよう、努力していく。

【参考】

○第10回大会開催結果概要

開催日程：平成16年（2004年）8月19日（木）～23日（月）

開催場所：アステールプラザ

応募作品数：1,539作品

来場者数：3万1,674人

市補助金交付額：7,919万6千円

○第11回大会開催結果概要

開催日程：平成18年（2006年）8月24日（木）～28日（月）

開催場所：アステールプラザ

応募作品数：1,764作品（過去最多）

来場者数：3万1,170人

市補助金交付額：7,324万1千円

○第12回大会開催結果概要

開催日程：平成20年（2008年）8月7日（木）～11日（月）

開催場所：アステールプラザ

応募作品数：1,656作品

来場者数：3万1,820人

市補助金交付額：7,536万8千円

○補助金の交付額の減少について

実行委員会事務局においては、経費節減、各種助成金の確保、広告料増収等一層の自助努力を行うとともに、入場券販売においても、広島アニメーションビエンナーレとの連携による入場券相互割引、障害者や高齢者への割引等を新たに実施したほか、コンビニエンス・ストアでの取扱いも拡大し、入場者増加に努めている。

平成22年度（2010年度）の第13回大会に向け、本大会の国際的知名度を生かしながら、市民が楽しめる大会、都市の活性化につながり広島が元気になる大会、「愛と平和」を希求し世界平和の実現に寄与する大会を目指し、大会プログラムの見直しを検討することとしている。また、今後とも、アニメーションフェスティバルの価値や意義を訴え、市民にとって有意義な大会にしていくことで、広告収入、入場料収入の増加を目指し、補助金の交付額の減少につながるよう、努力していく。

【参考】

○第10回大会開催結果概要

開催日程：平成16年（2004年）8月19日（木）～23日（月）

開催場所：アステールプラザ

応募作品数：1,539作品

来場者数：3万1,674人

市補助金交付額：7,919万6千円

○第11回大会開催結果概要

開催日程：平成18年（2006年）8月24日（木）～28日（月）

開催場所：アステールプラザ

応募作品数：1,764作品（過去最多）

来場者数：3万1,170人

市補助金交付額：7,324万1千円

○第12回大会開催結果概要

開催日程：平成20年（2008年）8月7日（木）～11日（月）

開催場所：アステールプラザ

応募作品数：1,656作品

来場者数：3万1,820人

市補助金交付額：7,536万8千円